



ユツユツ とことん

うららかに たくましく ～耕し 萌えたち みのらせ さきみだる～

大仙市立太田中学校
令和4年9月21日
NO. 70



ジオパークで校外学習

(美の国 あきたネット より)

ジオパークとは「地球・大地（ジオ）」と「公園（パーク）」とを組み合わせた言葉で、「大地の公園」を意味します。ジオパークでは、見どころとなる場所を「ジオサイト」に指定して、地域の魅力を知り、利用できるように保護を行います。その上で、教育やジオツアーなどの観光活動に生かし、地域を元気にする活動や地域のすばらしさを知ってもらう活動を行います。現在秋田県には四つのジオパークがあります。

◆八峰白神ジオパーク ◆鳥海山・飛鳥ジオパーク
◆男鹿半島・大湯ジオパーク ◆ゆざわジオパーク

1年生、2年生は、3年生が修学旅行中の2日間を使って、ゆざわジオパーク、鳥海山・飛鳥ジオパークの一部で、SDGsとの関連や秋田の豊かな自然や文化の再発見、ふるさと大仙、ふるさと太田との比較など、一人一人が課題をもって、見学・学習してきました。もちろん、公共の場所や施設を利用したり、集団活動・行動をしたりしますので、規律・マナーや社会性・協調性などの伸長、仲間との絆づくり・思い出づくりも大きな目的となりました。

多くの子どもたちが、秋田県内ながらその地を初めて訪れたようで、実際にしたり耳にしたりすることで、大仙市や太田地域との違いを感じるとともに、大仙市、太田地域のすばらしさも再認識できたのではと思っています。さらに、一緒に行動する、協働して学ぶことで、仲間の新たな面やよさも発見できたものと思います。

校外学習は、その当日が学習日ではなく、そこまでの準備や事前学習、その後の事後学習やまとめを含めて校外学習です。事前に多くのことを調べて臨んだわけですが、事前に考えたこととは違うことやそれを超える内容には驚きと発見の連続で、やはり、本物に触れることは、学びの実感、学びを深めることにつながるのでしょう。この後の事後学習やまとめで、さらに深い学びとなるものと思います。

たった1日の校外学習ですが、コロナ禍の最近の感染状況の中で、受け入れ先の都合も含めて実施できるか心配しましたが、学校に帰ってきた子どもたちの顔を見て、実施できてよかったと心から思いましたし、校外学習の意義を再認識したところです。

そして、早くこの状況が改善され、何の心配もせずに、必要な時期に必要な教育活動を実施したいとの思いを一層強くしたところです。

1、2年生の保護者の皆様には、ぜひ体験学習を家庭での話題にさせていただき、子どもたちの学びの様子を想像していただければと思います。また、家族でジオパーク・ジオサイト巡りも楽しいのではないのでしょうか。私は全て行ったことがあります、その一部のジオサイトしか見ていません。ジオパークは広域で、ジオサイトはいくつもありますので、コロナの状況を見て、いろいろなジオサイトにも足を運びたいと思っています。



1年 高橋 祐翔

あたたかい滝や川原毛地獄の思った以上の硫黄の匂いにびっくりしました。この他にもびっくりすることがたくさんあり、秋田の新しい魅力を発見することができました。



2年 加藤 美羽

木で作られたおもちゃで遊んだり、科学を生かした遊びをしたり、プラネタリウムを見たりしましたが、どれも楽しく学ぶことができました。

蛇足ですが、帰ってきた子どもたちの「お昼ご飯美味しかった」と言う声が妙に残っています。